

釧路市子育て支援に関するニーズ調査
前回調査からの推移等について

平成 3 1 年 4 月

目 次

1	子育てを取り巻く環境について.....	1
2	保護者の就労状況について.....	3
3	子育て支援サービスの利用状況と今後の利用希望について.....	5
4	病気の際の対応について.....	7
5	不定期の教育・保育事業の利用について.....	8
6	釧路市の子育て支援事業の利用状況について.....	9
7	放課後の過ごし方について.....	10
8	育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度について.....	11
9	子育てのことや家庭の経済的状況について.....	12

1 子育てを取り巻く環境について

○子育てに日常的に関わっている人・施設では「主に祖父母」の割合が減少しています。

図表 子育てに日常的に関わっている人・施設（複数回答）

項 目	全体		
	今回調査 (%)	前回調査 (%)	差 (ポイント)
父母ともに	70.2	72.1	▲ 1.9
主に母親	31.8	27.8	▲ 4.0
主に父親	1.1	5.0	▲ 3.9
主に祖父母	14.8	31.9	▲ 17.1
幼稚園	13.8	17.5	▲ 3.7
保育所	15.5	14.1	▲ 1.4
認定こども園	8.4		
小規模保育	0.3		
家庭的保育	0.1		
その他	8.8	8.7	0.1
無回答	0.1	0.2	▲ 0.1

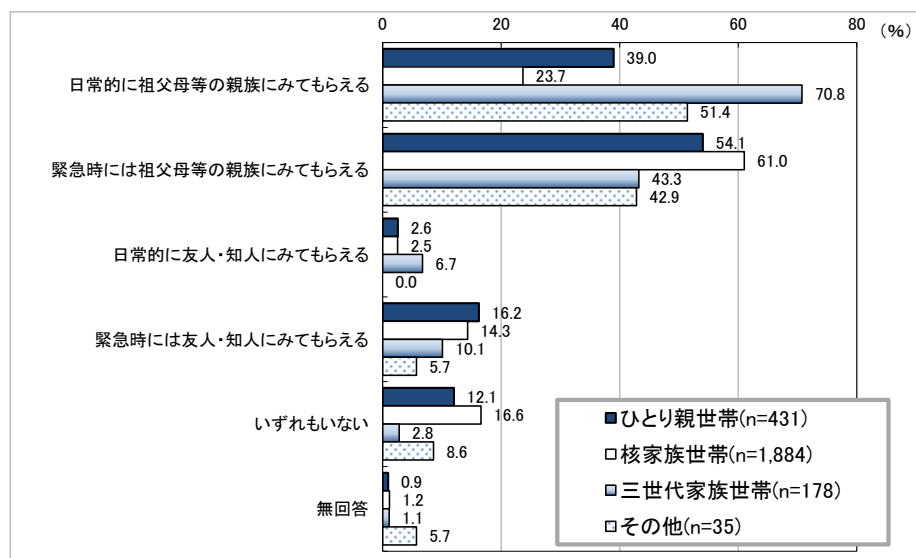
○また、日常的もしくは緊急時に子どもをみてもらえる家庭は依然として多いものの、全体的にその割合が減少しており、「いずれもない」家庭は1割を超えています。

○なお、核家族世帯では「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」は約6割と他の世帯構成に比べて多いものの、「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」は2割強と、他の世帯構成に比べて大幅に少なくなっています。

図表 日頃、子どもをみてもらえる親戚・知人の有無（複数回答）

項 目	全体		
	今回調査 (%)	前回調査 (%)	差 (ポイント)
日常的に祖父母等の親族にみてもらえる	29.9	33.2	▲ 3.3
緊急時には祖父母等の親族にみてもらえる	58.1	58.5	▲ 0.4
日常的に友人・知人にみてもらえる	2.8	4.3	▲ 1.5
緊急時には友人・知人にみてもらえる	14.2	19.3	▲ 5.1
いずれもない	14.9	12.4	2.5
無回答	1.4	0.0	1.4

図表 世帯構成別、日頃、子どもをみてもらえる親戚・知人の有無



○さらに、大きな違いには表れていないものの、子育てをする上での相談先で増加しているのは「保育士」「児童館職員」「学校教諭」「市の教育委員会」などとなっており、核家族化の進行等により、親族、友人・知人などの身近な人から支援を受けられる環境や相談できる環境が少しずつ失われている様子が垣間見えることから、より一層相談支援体制の充実や子育て支援情報の提供を強化していく必要性がうかがえます。

図表 子育てをする上での相談先（複数回答）

項 目	全 体		
	今回調査 (%)	前回調査 (%)	差 (ポ イント)
祖父母等の親族	78.8	80.7	▲ 1.9
友人や知人	75.0	76.7	▲ 1.7
近所の人	6.7	9.3	▲ 2.6
子育て支援施設	7.3	8.1	▲ 0.8
児童相談所	0.8	0.9	▲ 0.1
保育士	16.6	13.0	▲ 3.6
児童館職員	3.2	2.8	▲ 0.4
幼稚園教諭	12.7	14.0	▲ 1.3
学校教諭	17.0	14.7	▲ 2.3
市の教育委員会	0.3	0.2	▲ 0.1
民生委員・児童委員	0.1	0.2	▲ 0.1
かかりつけの医師	8.6	9.8	▲ 1.2
市の子育て関連担当窓口	2.6	2.7	▲ 0.1
その他	3.0	2.7	▲ 0.3
相談できる人・場所はない	2.9	3.0	▲ 0.1
無回答	0.6	1.1	▲ 0.5

2 保護者の就労状況について

○母親の就労状況をみると、若干ではあるものの、全体的に“就労していない”の割合が減少し、“就労中”の割合が増加しています。

○また、現在就労していない母親の今後の就労希望については「子育てや家事などに専念したい」の割合が若干増加しているものの、就業していない母親の就労希望ニーズは依然として高い状況です。

図表 就労状況【母親】（単数回答）

項 目	全体		
	今回調査（％）	前回調査（％）	差（ポイント）
就労中/フルタイム	28.8	24.2	4.6
就労中/パート・アルバイト等	33.1	29.8	3.3
就労中/フルタイムで産休・育休・介護休業中	3.4	3.1	0.3
就労中/パート・アルバイトで産休・育休・介護休業中	1.6	0.7	0.9
以前は就労していたが現在はしていない	29.2	37.1	▲ 7.9
これまでに就労したことがない	2.3	3.5	▲ 1.2
無回答	1.7	1.5	0.2

図表 現在就労していない人の今後の就労希望【母親】（単数回答）

項 目	全体		
	今回調査（％）	前回調査（％）	差（ポイント）
子育てや家事などに専念したい	32.2	24.5	7.7
1年より先で子どもの成長後に就労したい	42.6	43.4	▲ 0.8
すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい	22.7	22.9	▲ 0.2
無回答	2.5	9.1	▲ 6.6

○一方で、パートタイム等からのフルタイムへの転換希望については、「パート・アルバイト等続けることを希望」が増加しており、就労意向のある母親が希望する就労形態も「パート・アルバイト」が多くを占めているなど、就労希望時期や就業形態などのニーズは様々であり、これらの希望に対応する多様な教育・保育サービスの充実、利用対象者枠の拡大等について検討していく必要性がうかがえます。

図表 パートタイム等からのフルタイムへの転換希望【母親】（単数回答）

項 目	全体		
	今回調査（％）	前回調査（％）	差（ポイント）
転換希望があり実現できる見込みがある	8.4	6.1	2.3
転換希望はあるが実現できる見込みはない	21.1	19.8	1.3
パート・アルバイト等続けることを希望	65.1	54.6	10.5
就労をやめて子育てや家事に専念したい	3.1	5.2	▲ 2.1
無回答	2.4	14.3	▲ 11.9

図表 就労意向のある母親が希望する就労形態【母親】（単数回答）

項 目	全体		
	今回調査（％）	前回調査（％）	差（ポイント）
フルタイム	9.0	11.0	▲ 2.0
パートタイム・アルバイト	86.8	80.2	6.6
無回答	4.2	8.8	▲ 4.6

3 子育て支援サービスの利用状況と今後の利用希望について

○依然として多いものの、「認定こども園」の設立に伴い「幼稚園」を利用している割合、利用を希望する割合が減少しています。

○利用希望については、「認定こども園」の割合が大きく増加しているほか、「認可保育所」や「幼稚園の預かり保育」の利用希望も多い状況です。

図表 平日定期的に利用している教育・保育の事業（複数回答）

項 目	3-5歳			0-2歳		
	今回調査 (%)	前回調査 (%)	差 (ポイント)	今回調査 (%)	前回調査 (%)	差 (ポイント)
幼稚園	45.1	56.9	▲ 11.8	9.7	9.2	0.5
幼稚園の預かり保育	11.8	11.2	0.6	1.4	1.4	0.0
認可保育所	26.9	22.4	4.5	19.4	17.2	2.2
認定こども園	23.9			14.8		
小規模保育	0.6			1.7		
家庭的保育	0.1			0.3		
一時預かり事業	0.0	0.6	▲ 0.6	0.5	1.3	▲ 0.8
事業所内保育施設	3.2	1.5	1.7	3.4	4.0	▲ 0.6
その他の認可外の保育施設	3.2	2.3	0.9	3.1	2.0	1.1
ファミリー・サポート・センター	1.7	0.3	1.4	3.5	2.0	1.5
その他	0.7	2.3	▲ 1.6	3.5	2.8	0.7
利用していない、利用したことがない	2.2	3.0	▲ 0.8	41.3	52.8	▲ 11.5
無回答	0.1	12.7	▲ 12.6	1.1	9.6	▲ 8.5

図表 平日の定期的な教育・保育事業の今後の利用希望（複数回答）

項 目	3-5歳			0-2歳		
	今回調査 (%)	前回調査 (%)	差 (ポイント)	今回調査 (%)	前回調査 (%)	差 (ポイント)
幼稚園	41.5	57.6	▲ 16.1	45.8	52.8	▲ 7.0
幼稚園の預かり保育	21.9	19.9	2.0	17.3	14.8	2.5
認可保育所	20.3	21.8	▲ 1.5	33.9	31.5	2.4
認定こども園	21.6	2.0	19.6	30.4	5.3	25.1
小規模保育	0.6	0.7	▲ 0.1	1.1	3.8	▲ 2.7
家庭的保育	0.3	1.0	▲ 0.7	0.6	2.8	▲ 2.2
一時預かり事業	1.4			4.5		
事業所内保育施設	2.2	1.6	0.6	2.0	5.0	▲ 3.0
その他の認可外の保育施設	2.2	1.3	0.9	2.2	3.0	▲ 0.8
居宅訪問型保育	0.6	0.9	▲ 0.3	1.2	0.6	0.6
ファミリー・サポート・センター	0.3	1.3	▲ 1.0	5.4	4.4	1.0
その他	2.0	2.0	0.0	1.5	1.6	▲ 0.1
無回答	19.6	17.3	2.3	11.7	13.9	▲ 2.2

○また、特に土曜日や長期休暇期間中の利用希望が多くなってきており、共働き世帯が増加している状況を勘案すると、多様な生活スタイルに対応した教育・保育サービスの充実を図っていく必要性がうかがえます。

図表 土曜日の定期的な教育・保育事業の利用希望（単数回答）

項 目	3-5歳			0-2歳		
	今回調査（％）	前回調査（％）	差（ポイント）	今回調査（％）	前回調査（％）	差（ポイント）
利用する必要はない	51.4	60.2	▲ 8.8	51.2	59.2	▲ 8.0
ほぼ毎週利用したい	18.4	13.2	5.2	17.1	12.2	4.9
月に1～2回は利用したい	26.9	18.1	8.8	29.3	22.0	7.3
無回答	3.2	8.4	▲ 5.2	2.5	6.5	▲ 4.0

図表 日曜日・祝日の定期的な教育・保育事業の利用希望（単数回答）

項 目	3-5歳			0-2歳		
	今回調査（％）	前回調査（％）	差（ポイント）	今回調査（％）	前回調査（％）	差（ポイント）
利用する必要はない	73.2	75.9	▲ 2.7	73.7	72.0	1.7
ほぼ毎週利用したい	3.5	2.3	1.2	4.2	3.1	1.1
月に1～2回は利用したい	18.3	11.9	6.4	17.4	15.2	2.2
無回答	5.0	9.9	▲ 4.9	4.8	9.7	▲ 4.9

図表 幼稚園利用者の長期休暇期間中の教育・保育事業の利用希望（単数回答）

項 目	3-5歳			0-2歳		
	今回調査（％）	前回調査（％）	差（ポイント）	今回調査（％）	前回調査（％）	差（ポイント）
利用する必要はない	35.9	44.1	▲ 8.2	44.2	35.4	8.8
休みの期間中、ほぼ毎日利用したい	29.8	16.6	13.2	27.2	24.6	2.6
休みの期間中、週に数日利用したい	34.4	33.2	1.2	28.6	35.4	▲ 6.8
無回答	0.0	6.1	▲ 6.1	0.0	4.6	▲ 4.6

（注）今回調査のn数については、回答者を幼稚園（認定こども園の教育部分を含む）を利用されている人」と判定しており、前回調査の集計方法と異なるため、参考データとして使用

4 病気の際の対応について

○病気などで教育・保育事業が利用できなかった場合等の対応については、「母親が休んだ」が増加しています。また、子どもの病気等の際に会社を休むハードルについても全体的に減少がみられ、「その他」の内容として、「特に（ハードルは）ない・休める」といった回答が多くなっているなど、職場における理解が進んできている様子がうかがえます。

図表 病気などで教育・保育事業が利用できなかった場合等の対応状況（複数回答）

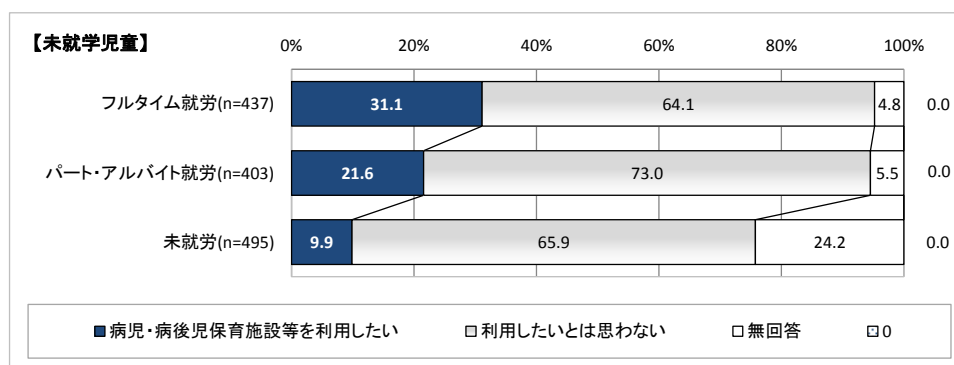
項 目	全体		
	今回調査 (%)	前回調査 (%)	差 (ポイント)
父親が休んだ	14.9	9.1	5.8
母親が休んだ	51.6	38.0	13.6
親族・知人に子どもをみてもらった	26.1	28.6	▲ 2.5
就労していない保護者がみた	21.5	26.4	▲ 4.9
病児・病後児の保育を利用した	0.3		
ベビーシッターを利用した	0.2	0.1	0.1
仕方なく子どもだけで留守番をさせた	5.5	4.8	0.7
ファミリー・サポート・センターを利用した	0.4	0.1	0.3
その他	3.3	3.1	0.2
利用できなかったことはなかった	9.6	11.0	▲ 1.4
無回答	9.1	13.5	▲ 4.4

図表 子どもの病気等の際に会社を休むハードル（複数回答）

項 目	全体		
	今回調査 (%)	前回調査 (%)	差 (ポイント)
子どもの看護を理由に休みが取れない	9.8	10.2	▲ 0.4
自営業なので休めない	2.8	2.8	▲ 0.0
休暇日数が足りないので休めない	5.4	7.3	▲ 1.9
休暇を取得できない雰囲気がある	19.4	25.7	▲ 6.3
自分が休んだ際フォローできる社員がいない	18.6	23.2	▲ 4.6
フォローできる社員はいるが非協力的である	5.0	5.9	▲ 0.9
その他	26.3	27.2	▲ 0.9
無回答	34.6	26.8	7.8

○一方で、子どもが病気などで普段利用している教育・保育事業が利用できない場合等における、病児・病後児のための保育施設の利用希望者の割合は、現在フルタイム就労している母親の約3割、パート・アルバイト就労している母親の約2割と、一定数の利用希望がみられます。

図表 母親の就労状況別、病児・病後児のための保育施設等の利用希望（単数回答）



5 不定期の教育・保育事業の利用について

○不定期の教育・保育事業の利用については、前回調査と比較しても大きな違いはみられなかったものの、私用、通院、不定期就労等での不定期の教育・保育事業の利用希望を母親の就労状況別にみると、すべての区分で「利用したい」が約4割と、就労形態や未就労に限らず利用希望がみられます。

図表 私用、親の通院、不定期の就労等の目的で不定期に利用しているもの（複数回答）

項 目	全体		
	今回調査 (%)	前回調査 (%)	差 (ポイント)
幼稚園の預かり保育（不定期の利用のみ）	9.1	8.5	0.6
一時預かり事業	1.6	1.8	▲ 0.2
子育て短期支援事業／トワイライトステイ	0.2	0.1	0.1
ベビーシッター	0.1	0.0	0.1
ファミリー・サポート・センター	1.7	1.2	0.5
その他	3.4	1.3	2.1
利用していない	75.8	80.2	▲ 4.4
無回答	9.1	7.4	1.7

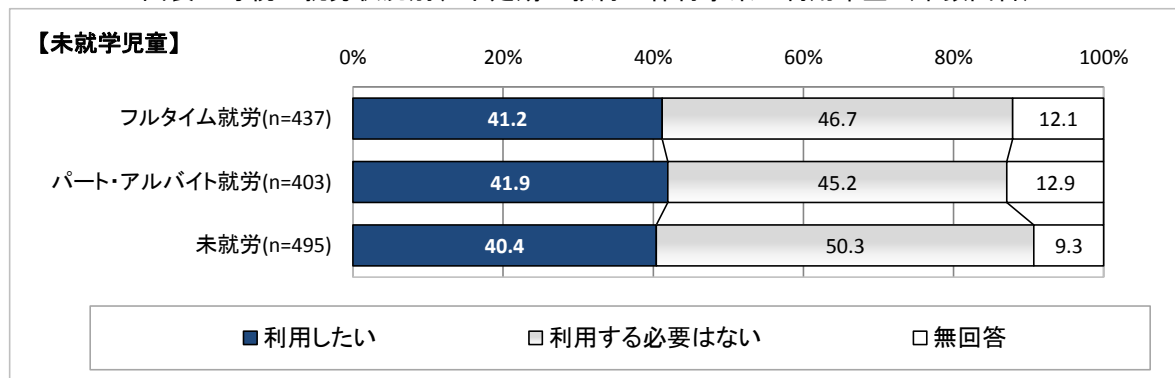
図表 私用、通院、不定期就労等での不定期の教育・保育事業の利用希望（単数回答）

項 目	全体		
	今回調査 (%)	前回調査 (%)	差 (ポイント)
利用したい	27.2	22.8	4.4
利用する必要はない	62.4	66.6	▲ 4.2
無回答	10.4	10.6	▲ 0.2

図表 私用、通院、不定期就労等での不定期の教育・保育事業の利用目的（複数回答）

項 目	全体		
	今回調査 (%)	前回調査 (%)	差 (ポイント)
私用、リフレッシュ目的	57.8	58.9	▲ 1.1
冠婚葬祭、学校行事、子どもや親の通院等	58.2	64.3	▲ 6.1
不定期の就労	22.5	19.9	2.6
その他	7.6	4.0	3.6
無回答	6.5	2.1	4.4

図表 母親の就労状況別、不定期の教育・保育事業の利用希望（単数回答）



6 釧路市の子育て支援事業の利用状況について

○釧路市の子育て支援拠点事業の利用状況及び「子育て支援センター」の今後の利用希望については、前回調査と比較しても大きな違いはみられなかったものの、「子育て支援センター」の今後の利用希望については、0-2歳の2割台半ばが“利用したい”（「今後利用日数を増やしたい」と「今後利用したい」の合計）と回答しており、さらに子どもが「1人」の場合、約3割が“利用したい”と回答しています。

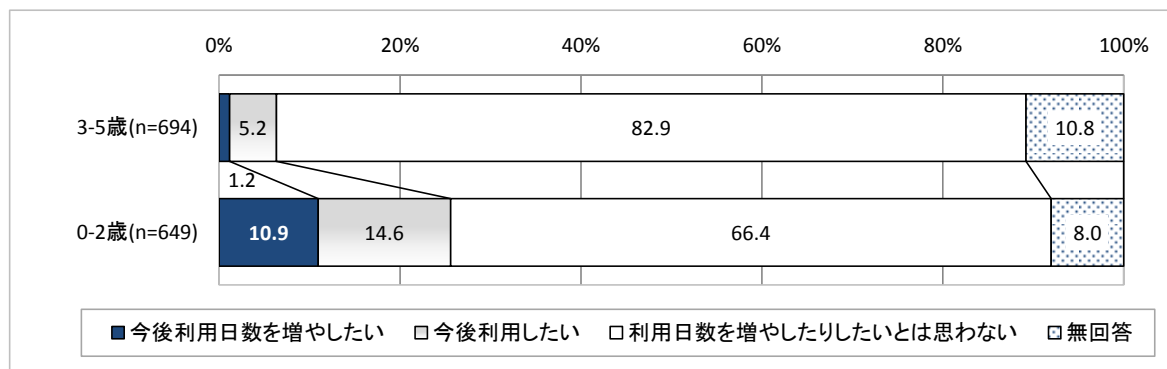
図表 地域子育て支援拠点事業等の利用状況（複数回答）

項 目	就学前児童／全体		
	今回調査 (%)	前回調査 (%)	差 (ポイント)
子育て支援センター	14.5	7.6	6.9
その他市内で実施している類似の事業	4.4	2.8	1.6
利用していない	79.2	86.6	▲ 7.4
無回答	4.9	4.6	0.3

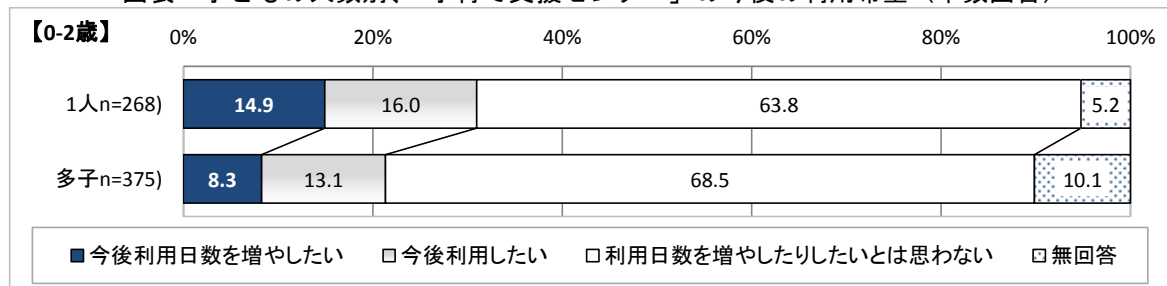
図表 「子育て支援センター」の今後の利用希望（単数回答）

項 目	就学前児童／全体		
	今回調査 (%)	前回調査 (%)	差 (ポイント)
今後利用日数を増やしたい	5.9	4.2	1.7
今後利用したい	9.7	9.7	0.0
利用日数を増やしたりしたいとは思わない	74.9	65.3	9.6
無回答	9.4	20.9	▲ 11.5

図表 「子育て支援センター」の今後の利用希望（単数回答）



図表 子どもの人数別、「子育て支援センター」の今後の利用希望（単数回答）



7 放課後の過ごし方について

- 放課後に過ごさせたい場所については、前回調査と比較しても大きな違いはみられません。
- 一方、放課後児童クラブ（学童保育）の利用希望については、「1～6年生において利用したい」の割合が減少しており、成長段階により異なりがみられますが、自由意見などから、放課後児童クラブの質の充実など地域の居場所として子どもたちが安全に過ごすことができる環境整備に対するニーズは多くなっています。

図表 放課後に過ごさせたい場所（複数回答）

項 目	全体		
	今回調査 (%)	前回調査 (%)	差 (ポイント)
自宅	70.2	66.4	3.8
祖父母宅や友人・知人宅	23.6	26.6	▲ 3.0
習い事	46.5	43.2	3.3
同好会・少年団など	29.0	29.7	▲ 0.7
児童館	25.2	19.9	5.3
チャレンジ教室	11.3	13.9	▲ 2.6
放課後児童クラブ	34.5	30.2	4.3
ファミリー・サポート・センター	1.6	0.6	1.0
その他（公民館、公園など）	21.5	22.7	▲ 1.2
無回答	2.9	3.5	▲ 0.6

図表 平日の放課後児童クラブ（学童保育）の利用希望（単数回答）

項 目	全体		
	今回調査 (%)	前回調査 (%)	差 (ポイント)
1～3年生の間は利用したい	52.6	42.6	10.0
1～6年生において利用したい	37.5	53.7	▲ 16.2
利用する必要はない	2.7	0.6	2.1
無回答	7.2	3.1	4.1

図表 土曜日の放課後児童クラブ（学童保育）の利用希望（単数回答）

項 目	全体		
	今回調査 (%)	前回調査 (%)	差 (ポイント)
1～3年生の間は利用したい	22.4	16.7	5.7
1～6年生において利用したい	18.8	34.6	▲ 15.8
利用する必要はない	51.1	46.3	4.8
無回答	7.7	2.5	5.2

図表 日曜日・祝日の放課後児童クラブ（学童保育）の利用希望（単数回答）

項 目	全体		
	今回調査 (%)	前回調査 (%)	差 (ポイント)
1～3年生の間は利用したい	10.6	8.6	2.0
1～6年生において利用したい	11.3	15.4	▲ 4.1
利用する必要はない	69.4	74.1	▲ 4.7
無回答	8.8	1.9	6.9

図表 長期休暇期間中の放課後児童クラブ（学童保育）の利用希望（単数回答）

項 目	全体		
	今回調査 (%)	前回調査 (%)	差 (ポイント)
1～3年生の間は利用したい	43.7	35.2	8.5
1～6年生において利用したい	41.8	58.0	▲ 16.2
利用する必要はない	7.7	3.7	4.0
無回答	6.8	3.1	3.7

8 育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度について

○育児休業の取得状況について、母親では「働いていない」が減少していますが、育児休業を取得していない理由については、前回調査と大きな違いはみられません。

○また、母親の1歳で必ず利用できる保育事業があった場合の育児休業の取得意向についても大きな違いはみられず、保育ニーズへの対応については、引き続き検討していく必要性があると考えられます。

図表 育児休業の取得状況（単数回答）

項 目	就学前児童／全体【母親】			就学前児童／全体【父親】		
	今回調査 (%)	前回調査 (%)	差 (ポイント)	今回調査 (%)	前回調査 (%)	差 (ポイント)
働いていない	54.8	66.0	▲ 11.2	0.9	1.3	▲ 0.4
取得した(取得中である)	32.1	18.5	13.6	1.7	1.4	0.3
取得していない	11.4	12.9	▲ 1.5	84.4	81.1	3.3
無回答	1.7	2.6	▲ 0.9	13.0	16.2	▲ 3.2

図表 育児休業を取得していない理由（複数回答）

項 目	就学前児童／全体【母親】			就学前児童／全体【父親】		
	今回調査 (%)	前回調査 (%)	差 (ポイント)	今回調査 (%)	前回調査 (%)	差 (ポイント)
職場に取りにくい雰囲気があった	23.2	21.5	1.7	23.6	23.5	0.1
仕事が忙しかった	14.8	12.0	2.8	29.4	26.9	2.5
仕事に早く復帰したかった	7.7	8.3	▲ 0.6	0.4	0.3	0.1
仕事に戻るのが難しそうだった	15.5	13.8	1.7	2.3	2.5	▲ 0.2
昇給・昇格などが遅れそうだった	1.9	1.2	0.7	3.8	3.6	0.2
経済的に苦しくなりそうだった	10.3	13.5	▲ 3.2	18.1	14.2	3.9
保育所等に預けることができた	11.6	8.9	2.7	1.6	1.2	0.4
配偶者が育児休業制度を利用した	0.0	0.9	▲ 0.9	14.4	8.2	6.2
子育てや家事に専念するため退職した	32.9	26.2	6.7	0.1	0.2	▲ 0.1
制度を利用する必要がなかった	5.8	10.5	▲ 4.7	24.7	29.5	▲ 4.8
職場に育児休業の制度がなかった	23.2	20.9	2.3	9.1	10.7	▲ 1.6
取得要件を満たさなかった	5.2	4.0	1.2	0.3	0.3	▲ 0.0
取得できることを知らなかった	2.6	2.8	▲ 0.2	2.1	2.1	▲ 0.0
取得できることを知らず退職した	1.9	4.3	▲ 2.4	0.0	0.0	0.0
その他	11.0	11.7	▲ 0.7	5.2	4.2	1.0
無回答	12.3	16.6	▲ 4.3	31.2	31.2	0.0

図表 1歳で必ず利用できる保育事業があった場合の育児休業の取得意向【母親】（単数回答）

項 目	就学前児童／全体		
	今回調査 (%)	前回調査 (%)	差 (ポイント)
1歳になるまで育児休業を取得したい	89.5	92.2	▲ 2.7
1歳になる前に復帰したい	10.5	7.8	2.7

9 子育てのことや家庭の経済的状況について

○子育てのこと等に関する設問については、「理想とする子どもの人数の実現は難しい」が若干減少し、その理由については、「経済的に厳しい」で減少がみられます。

図表 理想とする子どもの人数の実現の見込み（単数回答）

項 目	全体		
	今回調査 (%)	前回調査 (%)	差 (ポイント)
理想とする子どもの人数を実現している	57.0	48.7	8.3
理想とする子どもの人数の実現は難しい	30.1	36.2	▲ 6.1
今後実現したい	10.8	11.7	▲ 0.9
無回答	2.1	3.5	▲ 1.4

図表 理想とする子どもの人数の実現が難しい理由（複数回答）

項 目	全体		
	今回調査 (%)	前回調査 (%)	差 (ポイント)
経済的に厳しい	56.1	63.2	▲ 7.1
子育てや教育にお金がかかりすぎる	51.0	53.1	▲ 2.1
仕事に差し支える	27.0	22.5	4.5
仕事の将来に不安がある	12.1	12.0	0.1
家が狭い	15.8	14.1	1.7
健康上の課題	20.9	24.1	▲ 3.2
育児の負担が大きい	36.5	30.7	5.8
配偶者等から協力を得られない	12.6	12.7	▲ 0.1
配偶者が望まない	9.1	8.2	0.9
子どもを育てられる社会環境ではない	13.2	11.2	2.0
その他	21.5	17.8	3.7
無回答	0.7	0.7	▲ 0.0

図表 子育てをする中で、不安に思っていること、困っていること（複数回答）

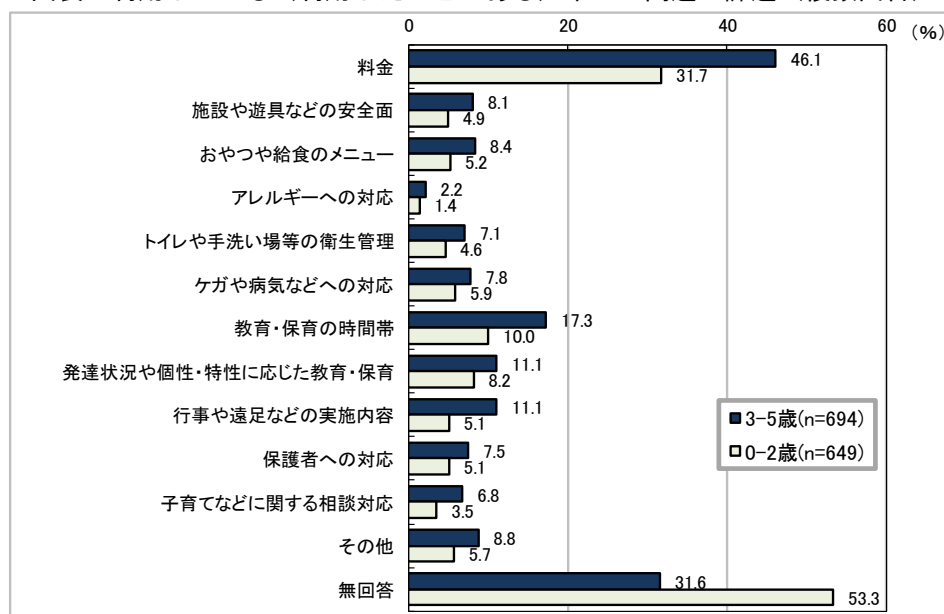
項 目	全体		
	今回調査 (%)	前回調査 (%)	差 (ポイント)
しつけ・育児方法・接し方	51.4	51.5	▲ 0.1
子どもの健康や性格	41.0	40.7	0.3
子どもの学校生活・教育環境	37.5	40.2	▲ 2.7
子どもの遊び場・生活環境	29.0	30.7	▲ 1.7
子どもにとっての地域の治安	23.3	24.1	▲ 0.8
子どもとふれあう時間が少ない	17.3	16.2	1.1
子どもを通じた近所付き合い	9.8	10.4	▲ 0.6
趣味や付き合いなど自分の時間が少ない	15.9	13.5	2.4
配偶者・親族等の協力が得られない	6.5	6.3	0.2
経済的な面	43.9	46.3	▲ 2.4
その他	2.0	2.1	▲ 0.1
特になし	10.2	8.3	1.9
無回答	2.6	2.3	0.3

図表 子育てに関する不安や悩みを解消するために重要だと思うこと（複数回答）

項 目	就学前児童／全体		
	今回調査（％）	前回調査（％）	差（ポイント）
子どもと接する時間が十分あること	63.6	64.2	▲ 0.6
家族の理解・協力が得られること	63.5	61.1	2.4
信頼できる身近な人と気軽に相談できること	52.3	52.8	▲ 0.5
経済的に安定すること	76.3	69.0	7.3
時間にゆとりが持てること	68.9	58.9	10.0
子育て支援センターなどで気軽に相談できること	17.2	14.4	2.8
地域とのつながりを持つこと	17.5	19.4	▲ 1.9
学校生活・教育環境が整うこと	41.5	39.9	1.6
遊び場・生活環境が整うこと	38.1	38.6	▲ 0.5
その他	2.0	1.7	0.3
無回答	2.9	2.1	0.8

○一方、家庭の経済的状況についてみると、教育・保育サービスを利用している（利用したことがある）中での課題として、「料金」が４割弱～４割強で約３割～４割台半ばで最も多くなっています。

図表 利用している（利用したことがある）中での問題・課題（複数回答）



○また、世帯構成別に、「子育てする中で不安に思っていること・困っていること」については、特にひとり親世帯で「経済的な面」という回答の割合が多くなっています。

図表 世帯構成別、子育てをする中で、不安に思っていること、困っていること（複数回答）

